

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
9月定例会 議案等審議結果一覧	3
平成30年度決算審査	4
主な質疑	5・6
委員会報告	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



第14回那須烏山市水泳大会で競い合う選手たち(令和元年9月7日)

**9月定例会が9月3日(火)に
招集され、9月18日(水)まで
の16日間の会期で行われました。
提出された議案等の審議の結果
は3ページに掲載しています。**

※議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第169号」をご覧ください。
会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になつて居る項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

滝口 貴史 議員

- 川俣市長の今後の市政運営について
- 東京オリンピックにおける聖火リレーについて
- 中学校の制服と多様性尊重について
- 有害鳥獣の駆除について
- 部活動の外部指導について
- 八溝グリーンラインについて

村上 進一 議員

- 児童虐待防止に対する取組みについて
- 市内防災重点ため池24か所の対応について
- 電子自治体の推進について
- 市議会常任委員会視察研修時の担当市職員の同行について

渋井 由放 議員

- 第2次環境基本計画について
- 水道事業について

中山 五男 議員

- 市長就任後2年間の成果と今後の方針について
- 投票率の向上策について
- 市内ゴルフ場への支援策について
- 全国学力テストについて

青木 敏久 議員

- 高齢者、子ども、障がい者、内面的不安を抱えた人等の見守り活動について
- 不登校の引きこもりリスクについて
- 「8050問題」について
- 高齢者の閉じこもりについて

平塚 英教 議員

- 防災情報伝達システム新設と防災対策への活用について
- JR烏山線の利用向上対策と駅舎周辺整備について
- 県管理道路の無電柱化整備について
- 境財産区について
- 本市学校教育と教師働き方改革について
- 「非核平和都市宣言」を掲げる本市の取り組みについて

久保居 光一郎 議員

- ウォーキングトレイルの現状と景観保全について
- 中学生の派遣事業と高等学校教育振興事業の成果と検証について
- 本市の自然資源である八溝県民休養公園の活用について

堀江 清一 議員

- 防災について
- 多面的機能支払交付金について
- 庁舎整備について

小堀 道和 議員

- 本市を蘇らせる市職員のスキルアップ策について
- 県内トップクラスのボランティア活動への支援制度導入について

矢板 清枝 議員

- 子育て環境の充実について
- 福祉対策について
- 消防団について

台風19号で被害を受けた皆様に心からお見舞い申し上げます。

那須烏山市議会

議会の動き

令和元年6月

26日○那須烏山市・那珂川町新人議員合同視察研修

7月
27日○議会だより第53号発行
○「山あげ祭」開催期間のJR烏山線利用客のお出迎え(28日まで)

8月
8日○経済建設常任委員会研修会
9日○議会報告会運営チーム

9月
3日○第3回9月定例会(18日まで)
6日○議会広報委員会
10日○各常任委員会(11日まで)

10月
2日○議会報告会運営チーム
7日○議会広報委員会
15日○議会広報委員会
○災害現地調査
16日○災害対応に係る議員懇談会
21日○議員全員協議会

令和元年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。



鳥獣被害対策実施隊の隊員たち

滝口貴史議員

有害鳥獣の駆除について

(問)鳥獣被害対策実施隊の、1年間の活動実績及び長期的な考えを伺う。

(答)全国的に鳥獣による農作物等の被害は深刻な状況にあり、昨年度、鳥獣被害対策実施隊を設置した。実績については、市民からの通報件数が62件あり、速やかに隊員に連絡し、防除指導やわなの設置、捕獲等の対応をした。また秋季にイノシシに対して巻狩りを行

い、計12日間でイノシシ3頭を捕獲し、捕獲以外にも巻狩りによる追い払いの効果があつたと思う。今後は、市鳥獣被害防止計画に基づき、市民からの連絡により隊員を現地に派遣し、わなを利用した捕獲や巻狩りの実施、また、被害防止措置として、電気柵等の張り方や誘引物撤去等の侵入防止対策の指導、ワイヤーメッシュ等の防護柵の設置指導を実施する。

現在、課題として、隊員の平均年齢が65・7歳と高齢化が進んでいることやそれに伴う人員不足に直面している。

対応策として、狩猟免許の新規取得者に対する取得費用の定額助成を実施している。今後も隊員確保に向けた有効な対策を講じていく。

村上進一議員

児童虐待防止に対する取組

みについて

(問)現在、児童虐待が社会問題となつている。本市における児童虐待の実態と対応について伺う。

(答)本市における児童虐待相談件数は、平成30年度は37件と前年度から22件増加している。そのうち児童相談所への送致が必要となる重篤な事案が10件あつた。市では、児童虐待の通告・相談があり次第、要保護児童対策協議会で受理し、児童の安全確保を含めた調査、虐待者への介入面接、虐待の評価、援助方針の決

定を行う。虐待通告から48時間以内に児童と面接等を行い、安全確認を目視で行い、虐待の緊急度や重症度を判断し緊急性が高い場合は児童相談所へ通告・送致している。

(問)児童虐待の防止等に関する法律改正後の児童相談所との連携について伺う。

(答)法改正後も、要保護児童対策協議会の充実強化を図り、児童虐待の発生時に迅速・的確な対応ができるよう児童相談所との連携をさらに強化していく方針である。また、国が求めている子ども家庭総合支援拠点は令和4年度設置に向けて動く方針である。

渋井由放議員

水道事業について

(問)水道事業は、簡易水道を統合して今年度から企業会計となつた。効率のよい運営を行うため計画を立てていると考えるが、具体的にどのような計画か伺う。

(答)昨年度、簡易水道分を含めた経営戦略計画であるアセットマネジメントを策定した。今年度は水道管路更新計画の見直し作業を進めているところである。

(問)安心安全な水を確実に届けるという観点から質問する。向田の簡易水道で、断水があつたがその内容を伺う。

(答)国道294号の向田交差点付近で配水管の破裂があり、2日間にわたり水

が届けられない家庭があつた。

(問)簡易水道だと配水池の容量が小さく断水が起こりやすい。野上まで烏山の水道が来ている。つなげばよいと考えるがいかがか。

(答)市内全域を再度どのようルートで水道を回すのが一番経済的かつ合理的か検討をしていきたい。

中山五男議員

全国学力テストについて

(問)今年4月に実施された全国学力・学習状況調査(小学6年生、中学3年生が対象)の結果が8月に新聞報道された。その記事によると、本県全体の児童生徒の成績は「改善傾向にある。」とされているものの、いまだ全国順位は思わしくない。そこで、市内小中学生の学力テストの結果はいかがであつたか。本市では特に英語教育に早くから多額の費用を投入してきたが、その成果が見られたか伺う。

(答)本市小学6年生の成績は、国語・算数ともに全国平均を上回っている。特に、国語の成績が良好であつた。一方中学3年生の成績は国語・数学・英語、いずれも残念ながら、全国平均を下回る結果となつた。

本市の英語教育の成果については、コミュニケーション能力の向上を図ってきたが、今回の調査結果からは、その努力が反映されていない。

以上のことから、校長先

生を始め、教員には十分反省していただくとともに、研修や県派遣等を実施して改善を図りたい。

青木敏久議員

「10050問題」について

(問)定住人口、交流人口、関係人口に加えて、元気な人を増やすことが大切である。本市のひきこもりサポーターの養成について伺う。

(答)現在までサポーター派遣依頼はないが、今後は県や他市町と連携し、ひきこもりサポーター養成事業についての普及・促進を図りたい。

高齢者の閉じこもりについて

(問)閉じこもりは週1回も外出しない状態であり、死亡リスクを高める要因にもなつている。サード・プレイスとセーフティネットについて伺う。

(答)本市の高齢化は著しく、一人暮らしの高齢者は平成30年10月時点で1127人、65歳以上の12%である。今般、社会福祉協議会と共同で居場所マップを制作し、市民や関係機関に周知を図つた。居場所や集いの場がサード・プレイスの一つとなれるよう活動支援に努めたい。

セーフティネットについては、民生委員や地域包括支援センター他、関係機関と連携し、閉じこもりがちの高齢者の早期発見や予防、見守り支援を進める。

平塚英教議員

防災情報伝達システム新設と防災対策への活用について

(問)本市は旧南那須町の防災行政無線や緊急告知ラジオ



高齢者等へ貸与予定の戸別受信機

自動で情報が流れ、ボタンを押すことで状況確認ができる。旧防災行政無線はサイレン吹鳴システムを整備した後、来年度末ごろ廃止となる予定である。

久保居光一郎議員

ウォーキングトレイルの現状と景観保全について

(問)ウォーキングトレイルは大金駅を起点として荒川流域を周遊するコースであり、多くの市民が健康促進のためにウォーキングやジョギング等で活用し、親しまれている。しかし、保健福祉センターから南那須公民館までの隅川沿いのツジの生垣の中は、雑草が生い茂り、その原形を留めていない状況であるが、その対応について伺う。

(答)議員ご指摘のとおり、ツジの生垣としての原形を留めておらず景観が大きく損なわれていることは事実であり、何らかの対応を考えたい。

(問)ウォーキングトレイルは愛犬を連れて散歩をする方がいるが、犬のふんを放



隅川沿いのウォーキングトレイル

庁舎整備について
(問) 那須烏山市庁舎整備基本構想素案のとおり、新庁舎にするのか。既存の建物を大規模改修して庁舎整備をする考えはないのか伺う。



備蓄されている非常食や生活用品

(答) 避難所への非常食や毛布等の準備状況を伺う。
(答) 備品や備蓄品については、市役所烏山庁舎、烏山体育館、旧向田小学校、保健福祉センター、旧境保育園及び烏山小学校等の指定避難所に備蓄している。本市では2千人が3日間過ごせる備蓄品の整備を進めているが、目標に達していない現状である。

堀江清一議員

防災について
(問) 40年間のライフサイクルコストを意識したシミュレーションにより、費用対効果の検証結果を踏まえて、既存建物の大規模改修による庁舎整備は考えてはいない。素案をもとに議員、市民、審議会の意見をとり込みながら進めていきたい。
(問) 市庁舎は、新しく建てるといふ方向か伺う。
(答) そのとおりである。

小堀道和議員

本市を蘇らせる市職員のスキルアップ策について
(問) 本市は厳しい財政、人口減少、少子高齢化、各種産業の衰退化など多くの問題を抱えている。これらを打開する各種委員会を充実させるため、市職員のさらなるスキルアップと士気向上が必要不可欠であり、コーディネーターやファシリテーター等の人材養成が必要であると考えるが見解を伺う。
(答) 市職員の役割は重要であり各種委員会が画期的で有意義なものとなるためのスキルを身に付け研鑽に努めたい。

県内トップクラスのボランティア活動への支援制度導入について

(問) 本市の各種ボランティア活動は人口割で見れば県内トップクラスであり、市民協働のまちづくりを推進するための支援策として、市で保険に一括加入する「ボランティア補償制度」及び「ボランティアポイント

矢板清枝議員

子育て支援について
(問) 10月から消費税10%が導入され、3歳児から5歳児を対象に保育料の無償化がスタートする。0歳から2歳児は住民税非課税の方に限り無償と定めている。0歳から2歳児の非課税世帯を含む該当人数を伺う。
(答) 10月1日からスタートする幼児教育・保育無償化は、0歳児は現行の減免等の措置に該当する1名のみで、無償化の対象者はいない。1歳児は、現行の減免等に該当する5名のほか6名が無償化となる。2歳児は、現行の減免等に該当する5名のほか1名が無償化となる。3歳児は132名、4歳児は145名、5歳児は175名が無償化の対象となる。

(問) 市独自の施策はあるのか伺う。
(答) 無償化に該当しない世帯への市独自の施策は検討していない。子育て支援として、聴覚障がい児の早期発見を目的とした、新生児の聴覚検査費用の助成については、前向きに検討を進めたい。

9月定例会 議案等審議結果一覧

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第17号	那須烏山市教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第5号	令和元年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
議案第9号	那須烏山市職員給与条例の一部改正について	可決	議案第18号	平成30年度那須烏山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第11号	那須烏山市消防団設置条例の一部改正について	可決	議案第19号	曲畑辺地及び志烏下辺地に係る総合整備計画の策定について	可決
議案第10号	那須烏山市嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	議案第6号	那須烏山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可決
議案第12号	那須烏山市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	可決	議案第8号	那須烏山市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部改正について	可決
議案第14号	那須烏山市災害弔慰金支給等条例の一部改正について	可決	議案第7号	那須烏山市森林環境整備促進基金設置及び管理条例の制定について	可決
議案第15号	那須烏山市立幼稚園保育料条例及び那須烏山市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部改正について	可決	認定第3号	平成30年度那須烏山市熊田診療所特別会計決算の認定について	認定
議案第16号	那須烏山市水道事業給水条例の一部改正について	可決	認定第6号	平成30年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定
議案第1号	令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)について	可決	認定第7号	平成30年度那須烏山市下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第2号	令和元年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第8号	平成30年度那須烏山市簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第3号	令和元年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第9号	平成30年度那須烏山市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第4号	令和元年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決			

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		青木敏久	興野一美	堀江清一	荒井浩二	福田長弘	村上進一	矢板清枝	滝口貴史	小堀道和	相馬正典	田島信二	渋谷由放	久保光一郎	沼田邦彦	中山五男	高田悦男	平塚英教	
議案第13号	那須烏山市国民健康保険診療所設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成30年度那須烏山市一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成30年度那須烏山市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成30年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成30年度那須烏山市介護保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で沼田議長は表決に加わらない。 ※認定第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決。

平成30年度 決算審査

平成30年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、所管の各常任委員会に付託され、慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等の中で、本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

総合政策課

○平成30年度において将来負担比率が初めてゼロになったことは、地方債発行の抑制及び基金積立の増加に日々努められた結果だと思われる。有利な財源を活用するなど、これからも財政の健全化に向け努力されたい。また、ふるさと応援寄附金については、制度の趣旨を踏まえ返礼品を見直し、市内で体験できるレジャーやスポーツ等、交流人口の増加につながるものを追加するなどし、自主財源の確保に努められたい。

○次期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、事業の選択と集中、重要業績評価指標(KPI)による効果検証のあり方について検討されたい。

○全国広報コンクール写真の部において、2年連続



地域おこし協力隊1期生による成果報告会

○地域おこし協力隊については、隊員の市内定着に向け、専門的な助言・指導等も含め、任期終了後も本人に寄り添った支援を実施されたい。

総務課

○防火水槽及び消火栓については、地元消防団と連携し、適正管理に努められたい。また、防災意識の向上を図るため、ハザードマップを十分活用するとともに、避難訓練を取り入れるなど、実効性の高い防災訓練が各地域で実施されるよう働きかけられたい。

まちづくり課

○デマンド交通については、隣接自治体との広域連携及びコールセンターの効率的な運営方法について検討されたい。なお、高齢者の運転免許証返納が進んでいるため、早急な対応を願いたい。

○JR烏山線については、Suica導入の要望を継続するとともに、職員一丸となって、利用向上に向けたさらなるアイデアを期待したい。

税務課

○移住に関する相談が増えたことだが、空き家の改修、空き家と農地を合わせて提供する等、移住希望者のニーズに合わせた柔軟な対応を検討されたい。

○法律に基づく財産調査、差し押さえ等の徴収事務に日々努められ、徴収率は改善されているが、固定資産税における大口滞納の影響で市税徴収率が依然、県内最下位であることから、今後も県や国などと連携して対応するとともに、市民に不公平感や誤解を与えないよう丁寧な周知を求め、また、土地や建物、償却資産の把握を適正に行い、正しい課税につながるよう

う努められたい。

○納付方法として、市役所窓口だけではなくコンビニ納付や口座振替の推進により、納付しやすい環境の整備及び窓口業務の改善に努められたい。

文教福祉常任委員会

所管する課

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課

市民課

○熊田診療所は、運営基金の取り崩しや一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況である。へき地診療所の目指すべき方向を再認識し、さらに経営の視点による対策を講じることを要望する。

健康福祉課

○地域包括支援センターからすやまの開設、障がい者相談支援センターへの相談支援包括化推進員の配置等、より専門的な相談支援体制の充実が図られている。相談窓口の多様化は、個別のニーズに合わせたきめ細やかな対応ができるという利点がある一方、どこに相談すればいいかわかりづらいという側面もある。市民が一番先に相談に訪れる健康福祉課においては、適切な相談窓口の案内をすると共に、相談者に寄り添った丁寧な対応に努められたい。

こども課

○烏山放課後児童クラブを、烏山小学校内の空き

教室を改修しこども館から移転した。環境の改善が図られ、子供たちは移転前より落ち着いて過ごすことができているとのことである。今後も、委託事業者との連絡を密にし、子供たちが安全安心に過ごすことができるよう環境整備に努められた



決算審査における現地視察(烏山放課後児童クラブ)

学校教育課

○夢の教室は、子供たちにとって大きな刺激となる事業である。有名人だけでなく、身近な地域の方の中にもロールモデルとなる優秀な人材が多数いるため、郷土愛の醸成のためにも地域の方を講師として起用することも検討されたい。

○中学生広島平和記念式典派遣事業について、派遣前には全生徒に対して十分な学習を実施されたい。そのうえで、代表で派遣される子供たち一人一人が、現地で平和の大切さを直に感じてくるのが肝要である。なお、派遣人数については、県内市町の状況等も参考に検

討されたい。

○スーパードライヤー育成事業が開始から3年を経過し、教員の意識及び授業力向上による児童生徒の学力向上への波及効果が期待される。今後も、長期的な視野に立って学力向上を目指していけるよう、スーパードライヤーのさらなる育成及び活躍を推進されたい。

生涯学習課

○体育施設について、段差や多目的スペースの不足等により、誰もが快適に利用することができているとは言えない状況が見受けられる。ハード面の整備が難しい場合においては、利用者の状況に合わせてその都度柔軟に対応する等、十分な配慮をされたい。

○ジオパーク構想を重点事業としているが、地方創生推進交付金の終了を機に、事業の抜本的な見直しを要望する。文化財や自然資源の教育への活用

に際し、意欲的に活動している個人や団体へは支援の充実を図られたい。

経済建設常任委員会

所管する課等

農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

○平成30年度から農業委員会の新体制となり、新たに農地利用最適化推進員が選任され、農地の適正管理等に努めている。今

後も、本市農業担い手育成、新規就農対策、また、295haに及ぶ遊休農地の解消と農地の集積・集約化による有効利用対策について、行政、農業関係団体及び集落営農組織等が一体となって取り組まれた。

○平成30年度から那須烏山市鳥獣被害対策実施隊が組織され、有害鳥獣対策として、年々増加する有害鳥獣による農作物の被害軽減が図られているが、今後も実施隊による迅速かつきめ細やかな対応に努められたい。

○地域特産品ブランド化について、6次産業化や付加価値向上対策を図り、農産物に特化せず、関係各課、関係団体が一体となって開発が進むよう継続的に取り組まれた。

商工観光課

○指定管理委託による山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設においては、施設の適正な維持管理とサービス向上による誘客に努めるよう指導されたい。

○賑わい創出のため、駅前広場や山あげ会館などを活用した定期的なイベント開催について関係団体と協議のうえ実施された。

○山あげ祭実行委員会と烏山山あげ保存会の責任を明確にして連携を図り、祭の円滑な運営と誘客につながるよう努められた。

○滝水辺公園などの活用による新たな観光資源の開発に努められたい。また、本市観光の情報発信については、費用対効果を考慮した対策を積極的に進められたい。

都市建設課

○市営住宅使用料については、滞納なく全て収納されておられ、担当課の努力が見られ評価できる。

地籍調査事業の再調査に

○地籍調査事業の再調査に關しては、地権者に十分な説明を行うとともに、地権者はもちろんのこと、その他関係者にも不利益が生じないように丁寧な対応で事業を進められたい。

橋梁点検の結果を踏ま

え、補修が必要な橋梁は速やかに修繕計画を立てるとともに、市の負担を少しでも圧縮できるように有利な交付金事業の導入や工法について検討し、実施に向けた取り組みを進められたい。



決算審査における現地視察(市道西野三箇線)

○道路整備については、今後、老朽化に伴う多額の改修費用負担が必要となるが、現在の財政状況では市単独での事業実施は難しいため、積極的に国・県への要望を行い、

財源確保に努められたい。

上下水道課

○簡易水道事業が令和元年度から水道事業に統合されたが、今後も企業会計として給水の安全性と安定供給に努め、効率の良い水道事業を運営されたい。

上水道の有収率は62・

88%と低位であり、漏水が原因と考えられる。そのため、引き続き漏水調査を行うとともに、平成30年度に策定した水道事業長期更新計画(アセットマネジメント)を基にして、水道管路更新計画を策定し、老朽管更新工事を速やかに実施することと有収率の向上に努められたい。

各会計において滞納繰越

や不納欠損が見られることから、今後、さらに徴収事務の強化を図り、滞納繰越や不納欠損が生じないよう努められたい。

下水道事業については、烏

山中央処理区の水洗化率が37・35%と漸増傾向にあり、担当課の普及啓発の努力は見られるが、南那須処理区90・33%、興野地区87・59%と比較すると格差がある。さらなる水洗化率の向上が図れるよう、下水道の加入促進に努められたい。さらに、区域外においては、今後も合併浄化槽の普及啓発を図り、市の環境整備の向上に努められたい。

主な質疑

9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について他

議員 本市の一般職非常勤職員の任用予定は156人という説明であったが、この中にフルタイムとパートタイム両方があるという考えか伺う。

答弁 本制度では、原則、パートタイムだが、診療所の職員や幼稚園の園長等は、パートタイムでは難しいため156人中、6人はフルタイムで、150人はパートタイムになると試算している。

那須烏山市森林環境整備促進基金設置及び管理条例の制定について

議員 平成20年からのとちぎの元気な森づくり県民税と、新たに森林環境譲与税が国から譲与されるが、この違いについて伺う。

答弁 とちぎの元気な森づくり県民税は、経営管理がしっかり行われている森林の利用促進が目的である。皆伐の促進や地域団体の活動経費に利用される。

議員 森林環境譲与税は、経営管理ができていない森林に対して、間伐や所有者の調査等に使われる。現在、実施している里山林整備事業は、引き続き県民税の中で行う。既に実施している団体は、5年間対象となる。

令和元年度那須烏山市一般会計補正予算(第2号)について

議員 債務負担行為の南那須中学校、烏山中学校のスクールバス運行業務委託について、スクールバスの台数、入札時期を伺う。

答弁 南那須中学校4台、烏山中学校2台である。入札の時期は、年度内での執行と契約を検討している。



児童たちの登下校等に使用するスクールバス

議員 報償費で鳥獣被害対策事業費40万円について内容を伺う。

答弁 市では、有害鳥獣捕獲奨励金として、イノシシ1頭につき6千円を支出している。県から捕獲強化奨励事業補助金が1頭あたり2千円上乗せされるので、200頭分を追加する補正である。

議員 運転免許証自主返納者支援事業の内容と補正の人数は、どれくらいを予定しているのか。また、

令和元年度決算に関する総括質疑

議員 ふるさと応援寄附金について、寄附の金額、流失額、返礼品その他の費用について伺う。

答弁 ふるさと応援寄附金は、352件、1210万円が寄附額。これに



ふるさと応援寄附金の返礼品の一例

平成30年度決算に関する総括質疑

議員 最近、少し若い年代の方でも免許返納にきている状況である。2年間の有効期間で、1人あたり1万5千円分のタクシー利用券が交付される。何人分としてではなく、利用実績に応じた補正である。

議員 立地適正化計画策定業務委託は、国土交通省関東整備局、栃木県都市計画課の指導に基づいて、まちづくりの方針、都市の骨格構造の検討、誘導区域、誘導施設の検討と今後の進め方の検討などの項目について計画作成を委託している国の交付金事業で3年計画の2年目である。烏山駅周辺まちづくり構想策定業務は、烏山駅周辺にこれに配置したら良いかという計画策定業務である。

議員 財政分析指標で、経常収支比率が93%とさらに財政の硬直化が増加している。原因と今後の財政健全化の取り組みについて伺う。

答弁 経常収支比率は平成30年度は93%、平成29年度は90・7%なので上昇している。主な要因は、少子高齢化が進んで、いわゆる扶助費等、また補助費等が増加傾向にあるためである。また、経常収支の一般財源の伸びが

少ないことがあると

固定資産税16億7千万円のうち、太陽光発電電に

関する件数、金額を伺う。

答弁 太陽光発電設備に関する固定資産税は209件で2億4千万円である。



東京で実施された地域おこし協力隊合同募集セミナー

議員 地域おこし協力隊の1期生が10月で卒業となるが、2期生が集まらないことであるが現状

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

Table with 6 columns: Date, Content, Audience Count, Date, Content, Audience Count. Rows include 9月3日(火)開会・報告・上程・採決・付託 (5人), 9月4日(水)一般質問 (14人), 9月5日(木)一般質問 (11人), 9月6日(金)一般質問 (17人), 9月9日(月)決算総括質疑 (1人), 9月18日(水)報告・採決・閉会 (0人), and a total of 48 people.

を伺う。 答弁 現在2期生の募集を9月末まで行っている。8月に東京で実施された合同募集セミナーに参加した。現在1名の応募がある状況。2期生については、観光行政等を中心に、市観光協会とともに那須烏山市を盛り上げてくれるような人材を募集しているところである。

那珂川町との合同 新人議員視察研修

活動報告

Not In My Back Yard (ニンビー)という言葉があります。社会的必要性は認めるが、うちの近所には作らないで、との意味です。今回の視察先のごみ処理施設や火葬場などがそれにあたります。

6月26日、那須烏山市・那珂川町の主に1期目の議員を対象に、南那須地区広域行政事務組合の合同視察研修を行いました。

広域行政センターでは、組合の概要と那須南病院事業及び消防事業について、一通り説明を受け、視察は、ごみ処理施設・し尿処理施設、斎場に赴きました。一般に立ち入ることが出来ないバックヤードまで見せていただき、また職員や業者の方に直接お話を伺うまたとない機会を得られました。人口減少、税収減少に直面するも、住民福祉の向上は広域共通の課題でもあります。経験年数の長短に関わらず、ともに知恵を出し合い、議論を深め、政策を磨くことは議員たる者の責務であります。初めての試みである今研修は、大変有意義でありました。

研修参加議員代表

青木 敏久



JR烏山線利用 促進等特別委員会

活動報告

山あげ祭に臨む市内の熱気が、迫り来る台風6号にも影響を及ぼしたのか、接近した低気圧の渦は雲散霧消し、3日間にわたる山あげ祭は天候にも恵まれ華やかな賑わいを見せました。

7月27、28日にJR烏山線「臨時列車」のお出迎えが、終点烏山駅前にて例年通り実施されました。市議会議員及び市職員や関係者が集まり、当番町の鍛冶町や、JR烏山駅のある地元金井町の若衆も連日屋台を率いて、乗客の皆様の到着をお囃子独特の節回しで盛り上げていました。写真撮影などにも応じるなどして、観光にいらした方々が山あげ祭見学に期待とともに足を運んでいく姿が見られました。

今年初めに烏山駅の発車予告メロディに、山あげ祭の定番曲であるお囃子が7月の期間限定で採用され、夏のお祭りムードを盛り上げることで、JR烏山線と山あげ祭の周知と活性化が図られました。

副委員長 荒井 浩二



訪れた観光客を歓迎する議員

経済建設常任委員会

活動報告

経済建設常任委員は本年2月7日に茨城県北茨城市を訪れ、民間活力を活用した子育て支援住宅整備事業を視察しました。これを踏まえて8月8日、市役所南那須庁舎大会議室において、その事業を受託、実施した事業者「市遊休地の活用について」をテーマとして同事業者が全国で実施している事業内容の説明を受けました。事業概要は、地方自治体の遊休地を事業者に貸し、良質な賃貸住宅を整備、建築住宅を固定賃料で自治体が借り、同事業者に入居管理業務を委託し、事業終了後(30年後)は無償で自治体に譲渡するというものです。今回の研修には、議会議員はもとより市職員も参加しました。本市においても合併以来、使用されていない市有地が多くあり、財政不足のおり、民間資金活用による子育て世帯の定住促進に向けた住宅整備事業は有効と考えます。

委員 平塚 英教



事業者の説明を受ける議員たち

議会報告会

10月27日(日)午後4時から 那須烏山市議会が主催する 議会報告会を開催します。

市民への報告及び市民との意見交換として2部構成で実施します。事前申し込みは不要です。ぜひご来場ください。

場所：烏山公民館

対象：どなたでも

1部：報告会「議会活動報告」

2部：意見交換会

「グループに分かれてのフリートーク」

表彰

6月に東京都で開催された第95回全国市議会議長会の定期総会において、高田悦男議員が議員在職20年以上の功績で表彰を受けました。また、同定期総会で沼田邦彦議長が建設運輸委員会委員を務めたことから感謝状が贈られました。



表彰を受けた高田議員(左)と沼田議長

12月定例会は、11月29日(金)開会予定です

正式な日程は11月22日(金)に開催される議会運営委員会で決定されます。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

あしがき

元号が平成から令和となり、早くも半年が経ち、東京オリンピック開会まで1年を切りました。オリンピック関連では、本市でも来年の3月に聖火リレーが行われます。また2022年には栃木県で国民体育大会が開催されます。本市ではアーチェリー競技の会場となることが決まり、これから様々な準備が行われます。共通して言えることは、参加する選手や運営に携わる方、競技を見に来る方、大会に関わる全ての方が、関わって良かったと感じることの出来る大会にすることだと思います。成功裏に進めるためには、その準備等様々な事柄に注意を払い、ミスを防ぐなど多くの課題がありますが、皆で一つになって乗り越え、良かったと思える結果に繋げて行くことが出来ればと考えます。

さて4月に施行された、那須烏山市議会基本条例に沿って、10月27日(日)午後4時から議会報告会を開催致します。議会報告会運営チームを中心に、より良い報告会が開催できるよう準備を進めていきます。ぜひ、多くの市民の皆様にご来場いただきますようお願いいたします。

(福田長弘議員)

